

第4の審判員

～その役割と任務について～

石川県サッカー協会審判委員会

- ・第4の審判員の任務については「Laws of the Game 2004/2005」の41ページに記載されています。
- ・試合前の打ち合わせの際に、主審から「お願いされたこと」を確認して任務を遂行して下さい。

1：交代の手続き、用具のチェック

- ・交代はできる限りスムーズに、正確に行う。
交代用紙、競技者の用具(服装・装飾品など)は正しくなっているか？
ボードには退出する競技者の番号を出す。
- ・競技者が12人にならないように注意する。

2. ベンチコントロール

- ・ベンチにいる監督、およびその他の者に責任ある態度で行動させるために
- ①審判員の判定に異議を言わせない。
「誰が何と言ったか」を聞き漏らさない。→口頭注意、主審に連絡→退席処分など
- ②戦術的指示に関して
テクニカルエリアがある場合、ない場合の区別をする。
「その都度ただ一人の役員のみが、戦術的指示を与えることができるが、指示を与えた後は所定の位置に戻らなければならない」
いつまでたってもベンチに戻らない監督や役員に対して注意する
- ③ベンチの横でシャツを脱いでくつろいでいる競技者に対して注意する

3. 負傷者への対応

- ①負傷者が出た → ハーフウェイライン付近まで出て、主審からの指示を待つ
主審から担架を入れる指示が出る → 担架係にフィールドに入ることを許可する
フィールド内では治療させない
ボールの管理
- ②「負傷した競技者の止血の確認」、第4の審判員による援助(競技規則149ページ)
出血を伴う負傷者のフィールドへの復帰に関して
 - ・第4の審判員の援助が得られ
 - ・かつ主審の合図があればボールがインプレー中でも復帰できる
 - ・ボールがアウトオブプレーのときは近くの審判員が止血を確認すれば、主審は復帰を認めても良い

4. 記録をする

- ・得点の経過、交代の記録
- ・警告・退場などの記録 → 何分に、どちらのチームの何番が、警告か退場か
理由(わかる範囲で、フィールドのどのあたりかも書く)

5. ボールの管理

- ・予備のボールを入れるように主審から指示が出る → まずは主審に渡す(不用意に蹴らない)

6. ロスタイム表示

- ・表示する時間は分単位とし、秒は切り捨てる。(2分0秒～2分59秒 → 「2」を表示)
- ・「0」は表示しない(1分未満)
- ・交代などで競技時間が過ぎてしまった場合も表示せず両ベンチに口頭で伝える。
- ・競技時間の終了間際に表示する。